



らいぶらり えひめ

Library Ehime

2018(H30)10.1 発行

No.234

愛媛県立図書館報

館長とI君の県立図書館的雑談

愛媛県立図書館長

井原 恒久

館長「よう、久しぶり。大学の授業は順調？」

I君「何とか司書資格は取れそうです。将来は図書館に就職したいけど、どこも狭き門のようですね。」

館長「そうだなあ。まあ、時間があるなら館長室でコーヒーでもどうだい。」

I君「ありがとうございます。じゃあ、ちょっとごちそうになります。」



調べ物は図書館に任せて！

館長「実はね、全国的に図書館で利用者数が徐々に減ってきていて、残念ながらうちも例外ではないんだ。なぜだと思う？」

I君「少子高齢化、人口減少。あっ、読書離れの傾向も。」

館長「もちろん、それはその通りなんだが。そもそも図書館に来る人たちの目的は何だろうか。」

I君「図書館で読書する。本を借りる。…図書館で調べ物をする！」

館長「そうなんだ。インターネット等が普及した結果、図書館で調べ物をする人が減っているんだよ。」

I君「なるほど、図書館のライバルはケータイやパソコンという訳ですか。」

館長「そこで、身近な生活の課題解決に役立つことをめざして、『子育て支援情報』・『医療健康情報』・『ビジネス情報』といった生活テーマごとに特設コーナーを設けた。ここに来てもらえれば、ネットを上回る質と量の情報が得られること受け合いだ！」

I君「それはすごいですけど、特定の分野だけ？」

館長「うちは、あらゆる情報の宝庫だと思ってほしいんだ。今や蔵書は69万冊、しかも毎年約1万冊ずつ増え続けている。」

I君「なるほど。」

館長「しかもね、例えば『ビジネス情報』だと、定期的に中小企業診断士を図書館に招いて、無料のビジネス相談会を開催するなど、関連事業にも力を入れているんだよ。」

プロの確かなレファレンス！

館長「調べ物でどうしてもわからないことがあれば、うちに来て、ぜひ司書に相談してほしい。」

I君「満足のいくレファレンスが期待できますか。」

館長「できるよ。例えば、『愛媛県の年度別移民の

送り出し数やその他県下の移民について書かれた資料を知りたい。』という質問に対しては、司書が全部で17冊にのぼる関連図書を紹介した。しかも、それぞれの資料を読み込んで、ブラジルとかペルーとか国別の移民の様子や人数を的確に質問者に回答したんだ。」

I君「へえ。」

館長「『南宇和高校時代の元大毎オリオンズ大西洋一投手の球種・フォームを知りたい。』なんて質問に対しては、司書は彼の高校時の活躍を伝える地方新聞を徹底的に調べて回答した。」

I君「うーん。それは相当労力がいらいますね。」

館長「インターネットを使っても、自分だけでこんなに詳しく調べられないと思うよ。しかも、その資料の実物が館内にあれば、パッと提示できるのは図書館の強みだね。」

図書館にはこんな資料もある！

館長「ところで、愛媛県といえば何を連想する？」

I君「さぬきうどん！」

館長「ハハハ。全然面白くない。」

I君「みかん、道後温泉、坊っちゃん、俳句…」

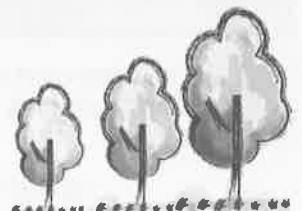
館長「そう、その俳句。戦前から高浜虚子らが収集してきた俳句資料をもとに、館内に『伊予俳諧文庫』を設置している。俳句関係資料は、現在もどんどん増え続けているんだ。ほかにも、日本を代表するイラストレーターだった真鍋博さんゆかりの品々を集めた『真鍋博コレクション』や、膨大な寄託郷土資料の集積『伊予史談会文庫』など、うちのコレクションは結構すごいんだよ。」

I君「でも、俳句といえばまず正岡子規ですけど…」

館長「もちろん子規もある。『熊手と提灯』は子規直筆の随筆だ。貴重な資料だし、うちのお宝だね。」

I君「なるほど、よくわかりました。それでは、そろそろおいとましますが、また寄らせてもらってもいいですか。」

館長「ぜひ来てくれ。それでもって、館長の自慢話に、また付き合ってくれ。」



愛媛県立図書館4階は、郷土資料と俳句資料の階です

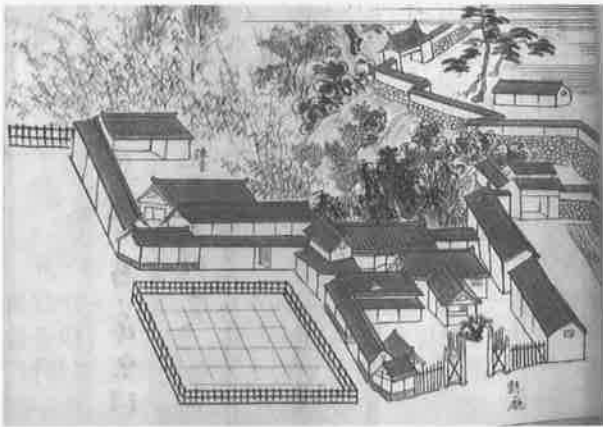
愛媛県立図書館4階にある「えひめ資料室」では郷土資料と俳句資料の収集と活用に努めています。ここでしか見ることのできない貴重な資料も数多くあり、ロビーや室内の展示コーナーにおいて展示し、わかり易く解説しています。

「明治15年 行政資料に見る愛媛県の誕生」

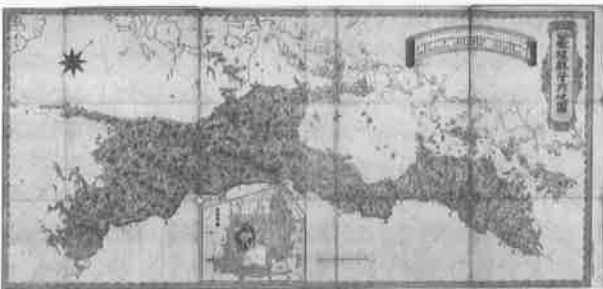


明治元年から満150年の年に当たる平成30年を節目として、改めて明治期を振り返り、将来につなげていくために、全国的に様々な取組が行われています。

えひめ資料室ロビーにおいても、6月1日から8月30日まで、所蔵する特別コレクション「愛媛県行政資料(藩政期・明治期)」のうち、廃藩置県から石鐵県・神山県を経て、明治6年に成立する愛媛県の始まりを中心に、歴史的に重要な出来事を行政文書で紹介しました。



初代愛媛県庁の図
「地理図誌稿」(請求記号：M05-22-15)



香川県が愛媛県に合併されていた頃の愛媛県地図
「愛媛県管内地図 明治17年」(請求記号：MM-1)

(図書整理グループ 中村 由紀)

「古白といへる男あり — 子規の従弟・藤野古白 —」

えひめ資料室では4月28日から8月30日まで、俳人正岡子規の従弟である藤野古白を紹介する展示を行いました。古白は子規の4歳年下で、明治4年に伊予国上浮穴郡久万町に生まれました。子規に俳句を教わり、短歌や戯曲など様々な文学的才能を持った人物でしたが、明治24年、24歳の若さで自ら命を絶ってしまいました。

今回の展示タイトル「古白といへる男あり」は、子規が詠んだ古白追悼句「春や昔古白といへる男あり」からつけたものです。

展示では古白の作品をまとめた『古白遺稿』や古白の小説を掲載した新聞『小日本』(複製)など、関連資料を紹介しました。中でも俳人内藤鳴雪旧蔵の『〔古白百ヶ日法要図〕屏風』(六曲一隻、縦約135センチ、横約270センチ)は、百ヶ日法要の様子を描いた絵や、古白と交流のあった俳人たちが詠んだ追悼句などが貼り混ぜられた大変貴重な資料で、展示のメインとなりました。

えひめ資料室の伊予俳諧文庫には、俳句や俳人に関する約2万点の資料があります。多彩な資料の中からテーマを見つけ、今後も継続的に展示を行いますのでぜひ楽しみにしてください。



(図書整理グループ 岡本 かおり)

充実しました！がん情報コーナー

3階一般図書室には、皆さまの医療や健康に関する調べものをお手伝いする「医療健康情報コーナー（以下、医療コーナー）」を設けています。医学・看護学等に関する本約3,900冊と闘病記約600冊が、病気等による分類順に並んでいるほか、県内の患者会資料や病院情報もご利用いただけます。また、医療・福祉関係団体や機関から、持ち帰り可能なパンフレット等もご提供いただいています。

近年、がんは日本人の2人に1人がかかると言われる身近な病気になっています。愛媛県では、がん対策基本法に基づいて「がん対策推進計画」を策定し、がんの対策に力を入れています。

当館医療コーナーでも、がんに関する全般的なものから各部位のがんまで、資料の収集・提供に努めています。また、医療コーナー内に「がん情報コーナー」を設けて、県内のがん情報を集めた冊子「がんサポートブックえひめ」をはじめ、愛媛県内の医療機関等のパンフレットや催しの案内、一般的ながんに関するパンフレットなど持ち帰り可能な情報をご提供しています。

こうした中、最近、「がん情報コーナー」を充実させるできごとが2点ありましたのでご紹介します。

1 「がん情報ギフト」の寄贈

このたび、国立がん研究センターがん対策情報センターから、「がん情報ギフトプロジェクト」に基づく「がん情報ギフト」セット一式の寄贈を受け、平成30年6月30日から公開を開始しました。

今回、県内では初めて、当館と新居浜市立別子銅山記念図書館が寄贈を受けました。

「がん情報ギフト」は、閲覧用の「がんの冊子」(47種)と、配布用の「がんの冊子」(8種)等に、バインダーと配架ラックがセットになっています。



当館では更に、利用者の皆さまの利便性を考慮して、県立中央病院がん相談支援センターの協力を得て、閲覧用冊子(47種)と同じものを1セット、借出し用としてご提供しています。

公開翌日に愛媛新聞に記事が掲載されたこともあり、「がん情報ギフト」を見に来ました、という方や、冊子を借りて帰る方がいらっしました。

図書館が、信頼できるがん情報を手に入れられる場所のひとつとして定着するように、情報提供を継続していきます。

2 絵本「ママのバレッタ」の寄贈

このたび、一般社団法人キャンサーペアレンツから、絵本「ママのバレッタ」を2部寄贈いただきました。キャンサーペアレンツとは、こどもをもつがん患者の方が、同じ境遇の方を探し、交流することができるSNSのサイトの運営等をしている団体です。

自分の病気のことを、こどもにわかりやすく伝えたいという会員の声をカタチにするため、「えほんプロジェクト」を立ち上げ、第1作目となる「ママのバレッタ」が完成しました。

抗がん剤治療により、髪の毛を失う母親と子どもの心温まるストーリーで、文章・絵ともに、キャンサーペアレンツ会員による作品です。

絵本は、医療健康情報コーナーにてご覧いただけるとともに、借出しもできます。ご利用をお待ちしています。



なお、平成25年度に始まった四国がんセンターと当館との連携事業は、回を重ねて今年で6回目を迎えます。来たる10月28日に「図書館で“がん”を学ぼう！2018」を開催する予定です。

(相談グループ 橘 可奈子)

新しい取組2017-2018

- 図書館で発信！愛媛のプロスポーツ
- もっと便利に！利用カードのNEW FACE

愛媛プロスポーツアーカイブズに 愛媛オレンジバイキングスが加わりました

＜愛媛プロスポーツアーカイブズとは＞

愛媛県がプロスポーツを活用した地域振興事業の対象として位置付けている団体に関する資料を収集し、提供する常設コーナーで、平成22年7月に愛媛県立図書館3階一般図書室に開設しました。資料の収集・保存と、広く情報発信するための展示を活動の二本柱としています。

平成29年11月までの紹介対象は、愛媛FC(プロサッカー・Jリーグ)と、愛媛マンダリンパイレーツ(プロ野球独立リーグ・四国アイランドリーグplus。略称：愛媛MP)の2チームでした。



愛媛 FC 展示



愛媛 MP 展示

＜愛媛オレンジバイキングスとの連携について＞

愛媛オレンジバイキングス(略称：愛媛OV)はプロバスケットボール・Bリーグのチームとして、平成28年から活動を開始しています。

当館では、平成29年12月から、愛媛オレンジバイキングスとの連携を開始し、「愛媛オレンジバイキングス第1回展示」(平成29年12月～平成30年1月)と「愛媛オレンジバイキングス第2回展示」(平成30年2～3月)を行い、チームを紹介しました。サイン入りボールや応援グッズ、試合中の写真の展示に加え、Bリーグのガイドブックを貸出しました。



愛媛 OV 展示

(相談グループ 白石 直美)

マイナンバーカードで 図書の借出しができるようになりました

愛媛県立図書館は、平成29年9月26日から、総務省が推進する「マイキープラットフォーム実証事業」に参加することとなり、それに伴いマイナンバーカードで図書の借出しができるようになりました。

借出しにあたっては、事前の手続きが必要です。

【事前手続きに必要なもの】

- ・マイナンバーカード及びその暗証番号

- ・マイキーID(8桁の英数字)

お持ちでない方は当館にてID作成の補助をいたします。

- ・愛媛県立図書館利用カード(借出券)

【ご注意ください】

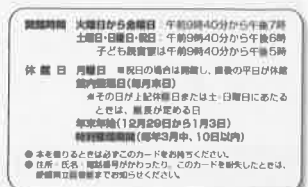
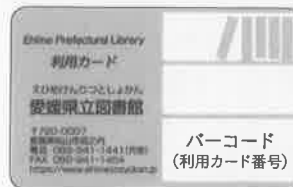
MYライブラリ※へのログインや、電話での借出期限延長の申し込み等には、従来の利用カード番号が必要です。利用カードを廃棄したり紛失したりしないようにしてください。

※MYライブラリ：館内の端末やホームページで貸出中の図書の予約や借出期限延長等ができるサービス

利用カード(借出券)の 記載内容が変わりました

平成29年12月から、利用カード(借出券)の記載内容を一部変更して発行しています。

表面には所在地、電話番号等を記載し、裏面には開館時間、休館日を記載しています。



旧の利用カード(ラミネート加工のもの、裏面に開館時間等が記載されていないもの)のままで利用できますが、新しい利用カードへの切り替えを希望される方は、窓口にてお気軽にお申し出ください。

なお、新しい利用カードに切り替えた場合、カードの番号が変わりますが、MYライブラリのパスワードはそのまま使用できます。

(相談グループ 木下 和幸)

愛媛に広かれ、本との出会い～読書振興グループの活動～

県立図書館では、県民の皆さまにとって図書館や本がより身近な存在になるよう、市町や学校、関係機関と連携しながら様々な事業を展開しています。ここでは、三つの取組を振り返ります。

おでかけ県立図書館 in 愛南

「おでかけ県立図書館」は、県立図書館が公立図書館のない自治体へ赴き、出張貸出やイベント等を行い、図書館サービスを体験してもらうことで、県内の全体的な読書活動の推進に取り組んでいます。

今年度は、8月9日に愛南町の御荘文化センターにおいて開催しました。

当日は、同センターでの催しが重なったことが幸いし、子どもから大人まで約180名の方にご来場いただきました。

子どもたちが椅子に座ってゆっくりと読書をしたり、友だち同士で本を選んだりする姿が見られました。また、当館職員のおすすめ本を顔写真付手書きPOPで紹介したコーナーは、多くの方が目に留めてくださいました。

開催にあたり、愛南町教育委員会の方々には、資料の運搬から会場設営、そして広報まで、多大なご協力をいただきました。

本事業が、本や図書館を楽しむ一つのきっかけとなることを期待しています。



学校図書館整備支援

平成28年度から、学校と連携して学校図書館の活性化に取り組む「学校図書館整備支援事業」を開始しております。年度ごとに支援校を決定のうえ、各学校からの相談に応じ、当館職員が具体的な助言を行っています。

平成29年度に整備支援を行った県立長浜高校は、同年度11月1日に開催された「愛媛県高等学校図書館教育研究大会並びに研究委嘱校発表会」に登壇し、当館の整備支援を高く評価していただきました。また、会終了後に複数の学校からお問い合わせをいただきました。

平成30年度の支援校は、県立今治南高校と県立西条高校です。平成30年7月に両校を訪問し、西条高校では除籍予定資料の選定作業の支援を終えました。また、今治南高校では、図書館のレイアウトや蔵書構成に関するご意見を伺いました。

今後、さらに支援を進め、学校図書館の活性化に協力していきます。



(読書振興グループ 東 智子、伊井 友世)

子どものための講演会 「羽尻利門さんと作ろう!自分だけの絵本 ～えひめの昔話を使って絵本を作ろう～」

8月5日、絵本作家の羽尻利門先生を講師にお迎えし、小学生約30名が絵本作りに挑戦しました。

先生から絵本の絵を描くときの着眼点やコツについてお伺いした後、それぞれ絵本作りに取り組みました。今治市に伝わる昔話「クジラのおれいまいり」の様々な場面絵を描き入れて、1冊の絵本を仕上げていきます。独創的なアイデアを生かした構図や色使いに、そばで見守る保護者の方々や先生も感心しきりでした。作者紹介欄やバーコードまで付いた本物さながらの出来に、プロの絵本作家になった気分を味わうことができました。最後に、スクリーンに作品を順に映し出し、発表会を行いました。一つひとつの作品に先生から丁寧なコメントをいただき、子どもたちは誇らしげな顔で会場をあとにしました。

これからも、皆さまに楽しんでいただけるよう、行事を企画したいと思いますので、ぜひご参加ください。



(読書振興グループ 石川 幸代)

西日本豪雨災害における県立図書館の支援について

西日本を襲った「平成30年7月豪雨」は、愛媛県下各地に大きな爪痕を残しました。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

県立図書館では、市町支援担当が7月8日に、各館へ被害状況の問い合わせをいたしました。県内の公共図書館・分館合わせて45館のうち、7日には11館が臨時休館の対応を取りました。館自体が被災したところもありましたが、地域の被災や停電により、開館が困難と判断したところもありました。

翌々日の9日は月曜日で通常の休館日であったため、10日以降休館する館は徐々に減り、9月15日時点で休館している館は、宇和島市立簡野道明記念吉田町図書館と大洲市立図書館肱川分館の2館だけとなりました。しかし、吉田町図書館は1階が1メートル40センチ程度浸水し、1階の蔵書3分の2程度が水損、また、肱川分館は天井まで水没し、蔵書17,000冊が全損しました。両館とも開館の目途は立っていませんが、地域の方々のために一日でも早く再開できるよう、職員が一丸となって、復旧作業を実施しています。

県立図書館では、職員3名が、7月19日に吉田町図書館を訪問し、状況調査と必要な支援の要望確認を行いました。また、宇和島市立図書館の職員とともに、2階閲覧室の床に仮置きしていた資料(1階閲覧室の蔵書のうち水損を免れたもの)について、汚れ等の確認を行いながら、乾燥した部屋へ分類別に移動させる作業を実施しました。当日は、県立吉田高校の生徒達もボランティアで移動作業に参加していました。蒸し暑い中、床はまだ泥が残っている状態で、靴が汚れるのも気に留めず、一生懸命作業している姿が印象的でした。

今後、県立図書館では、被害の大きい自治体にある被災した図書館や学校に対して、希望に応じて、図書の一括貸出やおはなし会等のイベントの実施を予定しています。

これまで経験したことのないような重大な危険が差し迫った時に発表される「特別警報」が、何度も出されたこの豪雨災害。一日も早く日常が戻ることを願ってやみません。



吉田町図書館 1階外側から見た光景



水損を免れた資料を分類別に置き換える作業

(読書振興グループ 東 智子)

愛媛県立図書館の利用案内

【開館時間】

火曜から金曜…午前9時40分から午後7時まで
土・日・祝日…午前9時40分から午後6時まで
子ども読書室…午前9時40分から午後5時まで

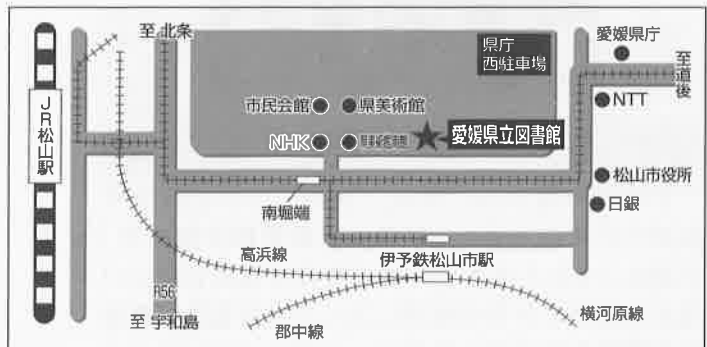
【休館日】

月曜日(祝日の場合は、直後の平日)
年末年始(12月29日～1月3日)
特別整理期間(10日以内で館長が定める日)
館内整理日(毎月末日、ただし、その日が上記休館日、土・日曜日に当たるときは館長が定める日)

【駐車場】

図書館専用の駐車場はありませんが、**県庁西駐車場**(旧国際交流センター跡地)を2時間ご利用いただけます。ただし、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

<付近略図>



編集・発行 愛媛県立図書館

〒790-0007 松山市堀之内 TEL 089-941-1441(代表) FAX 089-941-1454
https://www.ehimetosyokan.jp e-mail: tosyokan@pref.ehime.lg.jp(代表)